

日本切手デジタルカタログ

小川 義博

DATABASE からカタログへ

8年前、会報33号「日本切手 DATABASE 完成」を報告しました。その時の DATA 数が約 4700 であったのが、昨年末には約 8200、東京オリンピックの年には晴れて 1 万種の大台になってしまうのは確実だと考えます。このような中、現在の 2 種の印刷日本切手カタログで切手を調べ、整理することは困難さが増していると感じます。更に、数に加え、切手がシート画像に小さく掲載されたシートになっているシリーズ切手、グリディング切手の種類が増し、困難さがさらに増していると感じます。そこで、入力を継続してきた DATABASE を日本切手デジタルカタログに発展させることにしました。意図したのは文字入力への極力必要のないもの、具体的にはマウスクリック、CTRL キー入力で操作するカタログにしました。

簡単に内容と使用方法を紹介します。

目次

立ち上げると図 1 の目次画面が表示されます。1 ページの目次は切手の発行目的、発行意

図など切手を調べるためのページ、下にある 2 ページは切手に描かれたもの等で切手を調べるためのページと考えてください。

1. 種類別に切手を調べる

まず 1 の文字 DATA の 1 つ [特殊切手 約 5500 種] のセル (四角の枠) をクリックで指定し、桂離宮切手 (ボタン) をクリックすると、特殊切手のページが開きます。特殊切手約 5900 種の文字 DATA の 5900 × 32 (入力項目数) のマトリックスです (図 2)。目的切手をスクロールして見つけたら、その行の任意のセルをクリックして、CTRL キーを押しながら W キー (以降 CTRL+W と記す) を押すと目的の切手画像が表示されます。図 2 は 769 行のセルをクリックし、CTRL+W を押したページです。黄色セルはその行が画像の行であるサインです。CTRL+W を押し続けると、切手画像がかなりの速さで連続表示されます。印刷カタログのページに目を走らせるより早いぐらいです。表の中に切手通称の項目に文字が太く、色が異なる DATA があります。その行をクリックし CTRL+L で図 3 が表示されます。切手をより理解するため準備した資料画像が表示されます。写真、地図、書籍の部分等、切手をより楽しめる参考資料が全体の約 10% の切手に準備されてます。また、切手画像 FILE を他の目的に使用するため取りだしたい時、目的行をクリックし CTRL+F で、特定された FOLDER に、その FILE が保存されます。

2. 発行目的、図柄等 で切手を調べる。 残りのほとんどのセルが発行目的、図柄で切手を表示するセルの大数字 2 のセルです。図 1 の青丸のセル「旅の風景シリーズ」をクリックし切手ボタンをクリックすると「旅の風景シリーズ」180 種の DATA と 180 の切手画像表が左右に表示されます (図 4)。このままで文字表示行と画像表示行が離れすぎて対応



図 1 EXCEL ファイル立ち上げ時、示される目次画面

してして確認はできません。そこで、図4画面の青○右の「文字 DATA と画像対応表示」ボタンをクリックします。すると4種類ずつに分かれて文字 DATA と切手画像が確認しやすく表示し直されます(図5)。勿論、ここで



図2 文字 DATA 画面とそこで CTRL+W で切手画像を確認した画面



図3 図2画面で自然保護切手ゲンジボタル行で CTRL+L で参考資料確認画面



図4 図1の青丸セルをクリックし切手ボタンで表示された画面



図5 文字 DATA と画像対応ボタンクリック後の図4の画面

も CTRL+L、CTRL+F の CTRL キーは働きます。文字 DATA をすべて表示されてませんので、資料が準備されてない切手でも CTRL+L で文字 DATA はすべて確認できます。この大数字2の項目で調べられなかったり、対象を絞り込んで調べたい時は大数字3の「切手 DATABASE」をクリックし切手ボタンをクリックします。するとこのカタログの前身の「切手 DATABASE」の画面になります。

3. 切手 DATABASE

33号で紹介した DATABASE と基本的には変化なく、図6のように4つの検索語で AND 検索と OR 検索ができることは同じです。ここでも CTRL+L、CTRL+W は使用でき、「全切手を文字 DATA とみる」ボタンで文字 DATA と画像を対応して確認できます。

今回、この画面に追加したボタンが2つあります。一つは検索した画像 FILE をまとめて検索語のフォルダーを作り、一括、まとめてコピーできる機能を持ったボタンを用意しました。図6の黄○「切手をフォルダーにコピー」ボタンをクリックすると図7のようにヒットした FILE が検索語名フォルダーにコピーされます。仮のリーフ作成時等に欲しい画像の取り込みが楽になります。

二つ目は切手画像を希望するマトリックス(5~20列と必要行)の配置で画面に展開させることができるボタンを用意しました。それが図6の緑○「全切手の画像だけをみる」ボタンです。文字は一切表示せず希望する数で指定したマトリックスに切手画像を表示します。図8は153種類の切手画像を15×11のマトリックスに表示したものです。



図6 旅関係3語でOR検索の画面

き、図10のように一覧表示もできます。但し、シートも切手と同じく高解像度のFILEなので重くなり、若干画像処理が遅くなっています。



図10 小型シート検索画面と一覧表示画面

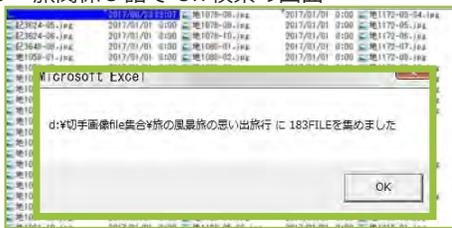


図7 旅関係FILE183を特定フォルダーにコピー表示

4. 発行年別に切手を調べる。

次は目次の大数字4の発行年別表示です。年別に発行された切手を印刷カタログで調べ、同一種類内でもシリーズによって時系列順が崩れ、しかも、複数のシリーズが絡み合っていたりします。非常に神経を使う作業になります。図1の年記入セルに西暦、元号、どちらかの希望年数を入力し切手ボタンをクリックで簡単に表示できます。表示は発行日順になってますのでシリーズ切手をまとめて表示



図8 国民体育大会153種の一覧の一部

図の国体切手のような長寿切手のデザインの経年変化などを掴む時に便利です。また、このカタログに新しい検索対象を加えました。それはシートを検索できるようにしました。切手カタログから意図的に除外してきた小型シート、ペーン、連刷シートなどを対象に検索できるようにしました。但し、検索語は発行目的だけの単語での検索です(図9)。この画面でも切手と同じくCTRLキーは使用で

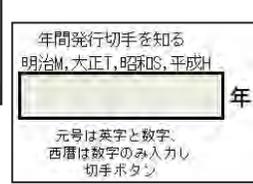


図11 年検索入力の目次画面 切り抜き

はしません。注意は最近のように500種類を超えて発行数の多い年はPCにも、使用者にもストレスを感じる所要時間が必要になります。

5. 日本切手を考える

最後の目次ページ大数字5のページ[日本切手を考える]は日本切手を集めていく上で知っておくと役立つ、便利かなと思うことを表示できるように考えた選択セルです。目次で切



図9 シート検索画面と一覧表示画面

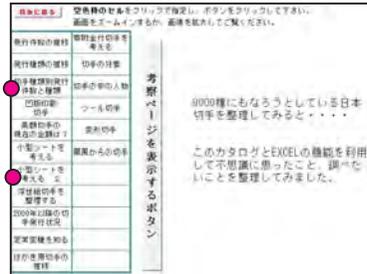


図12 日本切手を考える画面

手ボタンをクリックすると図12の画面が表示されます。この画面で「切手種類別発行件数と種類」のセル

をクリックし、[考察ページを表示するボタン]をクリックすると図13の画像が表示され、更に、「小型シートを知る」を指示すると、図14が表示されます。

カタログとしては不要な内容かもしれませんが、ただ、切手を一枚、一枚見ては知りえない、日本切手全体の姿、経年変化を知ることが切手収集の上で不可欠なことだと考えて加えた内容です。

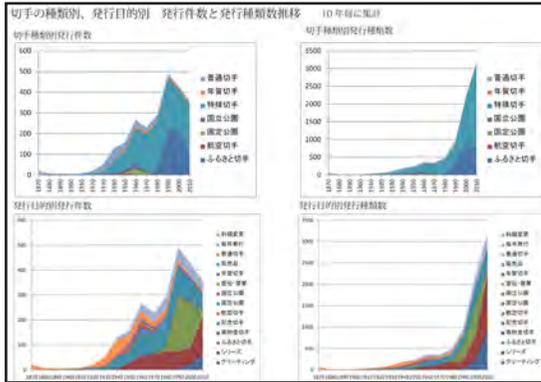


図13 「切手種類別発行件数と種類」の画面

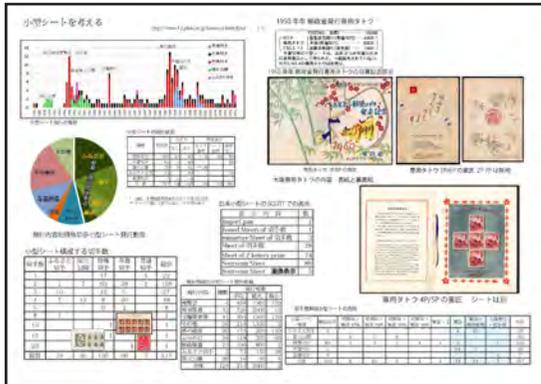


図14 「小型シートを知る」の画面

この内容を充実させるのに役立つのが、このカタログが EXCEL FILE だということです。EXCEL の持つ機能を利用して DATA の並び替え、クロス集計、グラフによる DATA 視覚化等が、即できることです。お陰で、会報にいくつかの駄文を掲載させていただきました。今後も、日本切手をより深く理解するため、視野を広め、検討することを PC カタログを利用し充実させたいと考えています。稲フィラ切手教室で発表レジュメの記念切手の定常変種の貴重な資料等も利用させていただきたいと考えています。今後、少し

ずつ内容を充実させていきます。

以上がこのカタログの画面指示からだけの使用です。この他にこんな使い方ができるといことがあります。



手にした切手の出生調べに役立ちます。やたらに多い花切手、中でも約300種もある桜を描いた切手の中から特定することは印刷カタログでは大変です。

図15手にした切手 このカタログでは楽に特定できます。DATABASE を選び、52円、桜、花束の3つの単語で AND 検索をすると、2014年発行おもてなしの花シリーズ第1集で発行された4種の52円切手の中の1集だとすぐ確認できます。整理できない切手を印刷面からひろった単語で情報を得ることができます。

さらに、切手を拡大して鑑賞、調べることができます。いままでの図の切手は実寸程度に表示してきましたが、切手画像 FILE はほとんどが 400dpi の解像度の FILE ですから、モニター上は勿論、印刷上もかなりの拡大表示に耐えられます。凹版切手を数種類を比較して楽しむというループでは難しいこともできます。例えば、単語で 凹版、平等院 で検索した画像を EXCEL の ZOOM 機能、マウスドラッグで拡大してみます。まず、検索結果は図16の様に9種の切手がヒットしました。



これを画面上で位置を変更し、ズームインした結果が図17です。



図17 ズームインした手彫切手

た結果が図17です。

凹版の繊細さを図16 凹版、平等院で検索され感じることができます。また手彫切手の龍の細かい表現も確認でき、印刷カタログでは気付かないことを知ることができます。

6. 最後に

このカタログには難点があります。基本的な問題は EXCEL の実行 FILE であることです。そのため、使用には多少なりとも EXCEL に慣れていることが求められます。更に、EXCEL ならではの問題があります。EXCEL のマクロを利用するため VERSION によって若干違いが生じ、対応が必要なことです。一時、バージョンアップで画像表示のコントロールが利かなくなったことがありましたが、青柳会員の情報提供に救われました。また、マクロ作成能力の点で AND 検索と簡単に併用できる NOT 検索ができてないことがあります。このような問題はあっても EXCEL での DATA の応用範囲の多様性、そして他のアプリケーションソフトとの相性の広さは無視できません。

更に、大きな課題が DATA の正確性と情報の客観性です。個人で作成してきた弊害と限界を使う度に感じてしまいます。文字 DATA の正確さはもちろんですが、どうしても、個人の興味、関心により情報の偏りがかなりあります。特に、KEYWORD の選択とその妥当性に悩みます。知識の範囲は勿論ですが、言語能力、語彙の無さを痛感させられます。

情報の正確さと深さで参考になったのが、稲フイラで耳にしたことがない「**日本切手図鑑 2008 年 うめ**」です。2008 年版で終わってしまっていますが、多くの方が参加して作製されたので、記録対象範囲が広いことに加

えて、文字情報の充実、客観性、正確さは驚きです。「さくら日本切手カタログ」を意識しての名称「うめ」、本カタログと比較し、感じたことは使用環境が DVD のため若干アクセスが遅いが、総べてマウス操作で使いやすいが、画像は 72dpi FILE のため、拡大は考慮されてない。しかし、文字情報の量と質は充実しており、登録対象がサザランド切手から郵便帯紙まで、初めて知ることなども対象となっており、貴重な情報が単語でなく、丁寧な文章の表現で充実しています。この点は検索という機能を加えるとき、別途、難しい問題が生じると考えます。もし、「うめ」に検索機能がつき、高解像度の画像が準備されれば、この PC カタログの立場など無くなるでしょう。下が「うめ」の画面です。下の画面で切手の下の単語クリックで詳しい単語について説明文が表示されます。

本題のカタログの今後にも問題があります。DATA 新規作成、更新していくことが難しくなってきました。年に 500 種以上も増えていく新たな DATA の情報入力です。郵便会社のサイトから最低限の情報は得られますが、関連事項などを得ようとすると主観的な判断が影響してしまいがちです。やはり、客観性のある情報をひろく求める努力が従来にも増して求められます。高解像度の切手画像を得ることも大変になってきました。経済的な面です。新切手は発行時に購入し、スキャンして対応してきましたが、年間 5、6 万円もの出費になり、経済的にきつく、3 年前より断念しました。

このカタログの先行きを考えると、多くの方に使用して頂き、多くの御助言、お叱りを受けて、より充実したものになりたいと考えています。せめて画像 FILE だけでも有効に利用していただければと考えております。全体で 9 GB を超えますので、USB メモリーでないとお渡しできません。ご希望でしたら USB をお送りいただき、切手を PC 画面で楽しむ時間をぜひ過ごしてみてください。



図 18 「日本切手図鑑 2008 年 うめ」画面